

「平成28年度 紀の川流域懇談会 を開催」 ～紀の川水系河川整備計画に基づく事業の進捗点検～

—近畿地方整備局 和歌山河川国道事務所—

概要

「紀の川水系河川整備計画(国管理区間)(平成24年12月策定)」では、戦後最大洪水(昭和34年9月洪水)を安全に流す取り組みや紀の川らしい自然環境の保全・回復などを目標に、概ね30年間の事業の内容を位置づけています。

「紀の川流域懇談会」は、河川整備計画に基づき河川管理者が実施した各事業の進捗状況の結果に対して、3年を1サイクルとして、過去3年の進捗状況ととりまとめ、委員からご意見を頂き、次年度以降の事業に反映することを目的に設置したものです。

平成24年度の河川整備計画策定以降、平成25、26年度は進捗状況の報告のみを行ってきましたが、今回の流域懇談会では、進捗点検の3年目にあたる節目の年となっており、平成27年度までの3ヶ年(平成25～27年度)の事業の進捗状況について報告するとともに、工事実施状況報告と合わせて、ご意見を頂きました。

日 時:平成29年3月8日(水) 15:00～17:00

会 場:和歌山県民文化会館 3階 特設会議室



懇談会の内容



流域懇談会の開催状況

委員から頂いた主な意見

<進捗点検報告>

【治水】河道掘削で掘削した土砂はどこに処分しているのか。

⇒圃場整備に使用することで再利用しています。

【環境】小学生との水生生物調査等の啓発活動の計画はあるのか。

⇒計画はありませんが、ご要望があればその都度お受けしています。

【管理】水際は生物によって非常に重要。紀の川全体を見て治水上整備が必要な箇所は実施し、環境に留意できる箇所は配慮するべきである。

【管理】配布された流木はどのように利用されているのか。

⇒薪やアート作品に利用されています。

<工事状況に関する報告>

○前年度に実施した施工箇所のみではなく、計画及び目的の内容を踏まえて報告した方が良い。

○上下流バランスを配慮するにあたり、奈良県管理区間もあるため、密に調整を行いながら改修を実施してほしい。

進捗点検報告の一例

岩出狭窄部対策



平成25年度から対策案等の検討に着手し、平成27年度には設計に着手しました。

当日配布資料-2 P14(進捗点検報告書(4.1.1 洪水を安全に流す取り組み):治水④)より

工事実施状況報告の一例

二見地区の築堤工事を実施



治水安全度等を踏まえ、二見地区の無堤部対策を推進しています。平成27年度は点線囲み部分の工事を実施しました。

当日配布資料-3 P2,3(工事状況報告)より

【お問合せ先】

国土交通省 近畿地方整備局
和歌山河川国道事務所 調査第一課
〒640-8227 和歌山市西汀丁16番
TEL:073-424-2471(代表)

